

—輝く農業人—

# きら星

地元野菜の  
おいしさを  
広めたい

葛飾区新宿

やはぎ そうご  
矢作 倉吾さん

(37)



【プロフィール】 ゴルフ練習場へ毎日野菜を搬入しています

28アールの畑でエダマメやネギなど少量多品目を栽培  
趣味は映画鑑賞。父・母・祖母・妹との5人家族。

矢作倉吾さんは、ネギやブロッコリー、エダマメ、近江シヨウガなど少量多品目を栽培しています。27歳まで会社勤めをしていましたが、農地を守らなければという思いと、矢作さんの家では農業のほか、ゴルフ練習場を兼業しており、当時練習場を任されていた叔父が体調を崩したこともあって、農地と練習場の将来を考えた継ぐことを決めました。就農当初はフレッシュ&Uターン農業後継者セミナーを受講したほか、独学で農業を学び、現在はJA東京スマイル葛飾営農研究会に所属し、そ菜部長として活躍しています。

以前は春キャベツなど市場に出荷していましたが、今はJAの直売所への出荷と兼業しているゴルフ練習場で5年前から野菜の販売をしています。練習場では直売所と客層が異なり男性客が多く、売れ筋も違うそうです。練習帰りに「妻に頼まれて」と言いつて野菜を買う人や近所の人が買いに来ます。取材時に野菜を購入された常連さんが「採れたてでおいしいから、練習後にいつも買って帰る」と話してくれました。「おいしかった」と言ってもらえることが、農業をやっている一番うれしいと矢作さんは言います。地域の人たちに地場野菜のおいしさを知って貰うためにも、練習場での野菜販売の認知度を高めたいと考えています。

矢作さんの作る近江シヨウガは根生姜の品種のひとつで、新生姜よりも大きく辛味と香りが強いのが特徴。葛飾区では殆ど作られていないため希少で、JAの直売所やイベントでの即売会で人気です。  
このほか、カリフラワーの一種である

ロマネスコの栽培にも取り組むなど、新しい野菜に挑戦しています。自分で面白いと思ったものを栽培してみることもあり、「前にハバネロを作った直売所に出したけど、年配のお客さんが多く、目新しいのは敬遠されるみたいでダメだった」と苦笑いをしていました。

また、葛飾区が都市農業に対する区民の理解を深めるために毎年実施している収穫体験農園でネギ畑の一部を提供しました。参加者は区画単位で購入し、自分で収穫した野菜を持ち帰り、採れたて野菜の味も体験できるもので、昨年は60組が参加しました。

最後に趣味をうかがったところ、無休である練習場に合わせて毎日野菜を出すので休みはほとんど無く、たまの休みには映画鑑賞や友人とおいしいものを食べに行ったりするそうです。「今は自分の作った野菜を使って料理をするようになりました」と楽しそうに話していました。



葛飾区新宿にあるゴルフ練習所で野菜を販売しています。取材時に常連さんが購入していました。